

DATA FILE



斜方晶系

名 前	CHRYSOBERYL (クリソベリル) / 金緑石
化学組成	BeAl_2O_4
色	黄色、緑色、茶色など
光 沢	ガラス光沢、亜ダイヤモンド光沢
蛍 光	なし
条 痕	白色
劈 開	二方向に明瞭
断 口	貝殻状
硬 度	モース硬度 8.5
比 重	比重 3.7

きん りよく せき

金緑石

CHRYSOBERYL

ガラスのような光沢
やダイヤモンドに近い
光沢が見られる。

ブラジルのエスピ
リト・サントでと
れた金緑石の結晶。

硬度8.5の金緑石よ
り硬い鉱物は、コラ
ンダムとダイヤモンド
の2種類のみだ。

細かいチューブのような
空洞や、数えきれないほ
どの針状の不純物が含
まれていることが多い。

さまざまな色があるが、
なかでも透明で黄緑色
のものは、宝石として
使われ、19世紀のイ
ギリスで大流行した。

劈開は二方向に明瞭で、
ハンマーなどでたたく
と貝殻状の断口があら
われる。

結晶は透明で平らな形をして
おり、表面には「条線」と呼
ばれるすじが入っている。



2つの宝石

金緑石は、主にペグマタイトや雲母が多く集まった変成岩の中から産出される。そのほかに、川の流れて体積した砂礫の中から見つかることもある。

宝石に利用される金緑石には、独特の光学的な性質を持つものがある。ひとつはカボションカットしたときに猫の目のような1本のすじが表面より浮き出てくる宝石「猫目石（キャッツアイ）」。この性質はほかの鉱物でも見られるが、金緑石であられるものがもっとも有名である。もうひとつは、太陽光では緑色に、白熱電球の光に当てると、赤色に見えるアレキサンドライト。これは成分に微量に含まれるクロムによるものだ。

キ 金緑石



▲丸くカットされたスリランカ産の金緑石。



▲楕円形にカットされた金緑石。

主な産地



ロシア

ウラル山脈は、質のよいアレキサンドライトがとれることで有名。

スリランカ

猫目石とアレキサンドライトが産出することで知られる。

日本

産出量は少ないが、福島県石川町で産出する。

ブラジル

質のよい猫目石やアレキサンドリアとがとれる。



▲茶色のジルコンと共生している金緑石。



▲ブラジルで産出した金緑石の双晶。